



樋門・樋管合同点検実施

平成29年6月7日から、一関出張所管内47箇所の樋門・樋管について合同点検が始まりました。点検は雨の多くなる出水期を前に、岩手河川国道事務所と水門等水位観測員が合同で実施するものです。

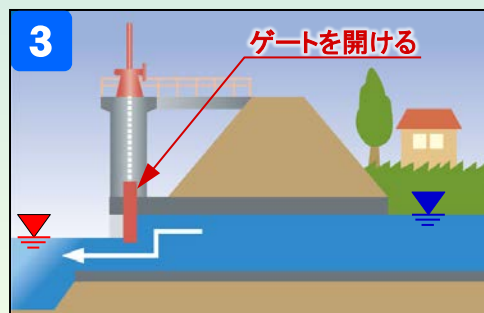
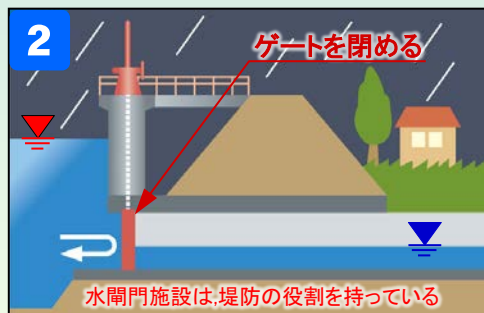
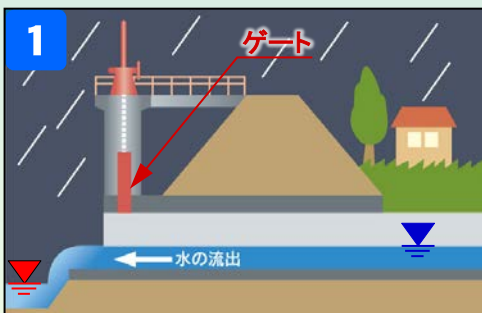
当日はゲート操作盤やゲート周りの点検、ゲート開閉の動作確認の他、降雨時の情報交換などを行いました。



小日形排水樋管

ゲート周囲点検の様子

【樋門・樋管の役割】



平常時や川の水位が低い時は、施設のゲートは開いているため、堤内地からの雨水等を川に排水している。(順流)

降雨により川の水位が高くなると、川の水が施設を通して堤内地に流れ込み(逆流)、浸水被害が発生するため、施設のゲートを閉める。

降雨の水位が低くなり、堤内地への逆流の心配が無くなったなら施設のゲートを開けて、堤内側に貯まった水を川に流す。



若柳小学校

砂防ダム役割について学習

「あいぽーと」



施設利用のご紹介

「北上川学習交流館 あいぽーと」は、総合学習などの場として多くの団体に利用して頂いております。平成29年5月25日は、宮城県栗原市立若柳小学校5年生77名と、



前沢中学校

災害対策室の見学・説明



前沢中学校

展望台から遊水地の見学・説明

奥州市立前沢中学校1年生123名が訪れ、一関地区の災害や遊水地について見学・説明を受けた他、「自分で出来る災害への備え」について学習してもらいました。

◆◆編集後記◆◆ 暖かくなり水辺で遊ぶ機会が多くなってきます。天気を確認して川の増水には十分注意して安全に楽しくお過ごし下さい。また、近年発生しているゲリラ豪雨にも注意が必要です。(Y)



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～